

しくなっていたのです。でもサユシユ様の決心はゆるぎません。

「仏様は必ず見守って下さる。私のいない間は嘉助が私の代役をつとめる。みんなで準備をして待っていてくれ。」

とたのんで加賀の国へ旅立ちました。

里人は焼山の地の木を伐り払い、附近をすっかり焼き払い、材料を揃えてサユシユ様の帰るのを待っていました。

しかしサユシユ様は一年たっても帰って来ません。二年たっても、三年たっても。とうとう帰って来ませんでした。

里人は小声で話し合いました。サユシユ様は役人に捕えられて殺されたのだろうと。

みんなは心の中に決心しました。サユシユ様の心を忘れずに信心しよう。そして一生けんめい働こうと。